

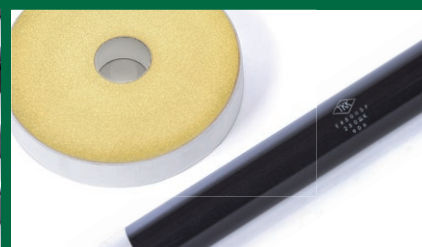


東海高熱工業株式会社
TOKAI KONETSU KOGYO CO., LTD.

Corporate Profile

常に最高を目指して

Always aiming for the best



独自の技術でファインセラミックス界のベストパートナーを目指し、 グローバルな視野で、皆様の発展に貢献する製品を提供いたします。

当社は発熱体や工業炉を中心に時代の変転と共に歩み、新たな扉を開くべく新製品の開発に取り組んできました。その進出分野も私たちの生活に寄り添う形で大きく変化しています。今、企業には地球環境保全に向けた行動が強く求められており、従来の企業経営の延長や視点では未来社会への貢献はできません。

高熱高温分野のパイオニアとして長年、幅広い業界に実績を残してきた当社ですが、その培ってきた技術をエネルギーや環境保全、そして次世代通信の分野に発展させています。

2036年には創業100周年を迎えます。しかし、その歴史を誇るのではなく育ててきた技術と顧客の信頼、携わる人々のひたむきな姿勢をこれからの100年に引き継いでいくべきであると新たな基礎固めに邁進してまいります。

持続可能な社会の実現へ向けた取り組みが企業評価の重要な基準となりつつある中、当社グループは東海カーボングループの一員として世の中の大きな変化、ニーズに迅速かつ果敢に挑戦し社会への継続的な貢献を目指してまいります。日々、大きな目標に向かって歩み続ける東海高熱工業に引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

佐藤 明彦



理念 | Philosophy

わが社は、顧客、従業員や社会との「信頼」を基本に、
「公正な活動」「環境との調和」ならびに「国際性」を行動指針とし、
経営資源を最大限に活かして最良の製品を供給し、社会の発展に寄与していきます。

姿勢とビジョン | Posture & Vision



挑戦 Challenge

培った技術を生かしながら新たな分野へ、
また、常に同じものではなく一歩進んだものづくりに挑戦しています。
エネルギー効率の良い製品やリサイクル可能な製品といった環境配慮型製品の開発もその一環です。



多様性 Diversity

風通しの良い社風で社員が自由に発言できる会社を目指しています。
さまざまな観点や考え方を取り入れることで、
工業炉・ヒーター製造のトップランナーとして企業の多様性を育てます。



信頼性 Reliability

高熱高温分野に長年携わってきた経験と知識により、多くの信頼を獲得していると自負しております。
また、技術を高めることでより高い信頼性を得られる企業となるべく努めています。



エレマ発熱体

エレマ発熱体は高純度SiCから成り、わが国で最初に市販された炭化けい素発熱体です。1927年(昭和2年)市販以来、豊富な経験にもとづいて鋭意研究を重ね、独自の開発技術と内外の技術を結集して品質の向上・改良に努め、ここに業界最大の生産規模と共に最高品質の製品としてご好評いただいております。



工業炉

電気炉や燃焼炉といわれる工業炉は、セラミック、電子部品、金属、ガラス、粉体などを所定の温度で加熱、焼結したり、溶解、熱処理するための装置です。

当社はこのような熱処理のための工業炉およびその関連設備の設計・製作に豊富な実績と、工業炉に必要な発熱体、耐火物の総合メーカーとして高度な複合技術を持ち、小型試験炉から産業用大型装置までのあらゆる分野に供給しております。



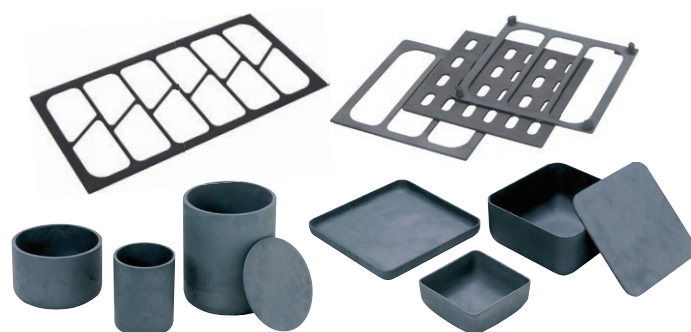
エレマ抵抗器

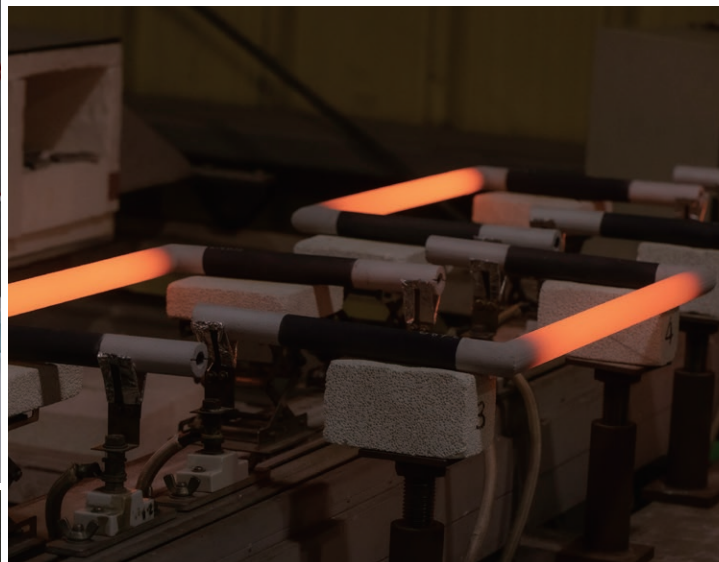
当社は1961年(昭和36年)以来、セラミック抵抗器の製造販売にたずさわり、広く電力、通信、医療等各方面の技術、性能向上に寄与してまいりました。

エレマ抵抗器は高温で焼結されたセラミック抵抗器であるため、苛酷な条件のもとにおいて、高い信頼性を必要とする回路に最も適した抵抗器です。

リクライト

リクライトは、SiCセラミック高温材料の商品名です。再結晶、反応焼結、常圧焼結等の品種を取り揃えており、高温でも安心してご使用いただけます。





出荷検査工程

— 製品品質を維持するために —

エレマ発熱体は出荷前に全数検査を行います。

その他、工業炉に関しても設置時に当社エンジニアが設置後・稼働確認が取れるまで実地で作業いたします。お客様の信頼向上のため、堅実な仕事を続けてまいります。

■ 本 社

〒107-0061
東京都港区北青山1-2-3青山ビル3F
TEL. 03-5772-8211 FAX. 03-5772-8265



JQA-QMA14341
工業炉事業部

■ 京都支店

〒604-8171
京都市中京区烏丸御池下ル虎屋町566-1 井門明治安田生命ビル3階
TEL. 075-253-6211 FAX. 075-253-6277



■ 滋賀工場

〒523-0013
滋賀県近江八幡市長光寺町705
TEL. 0748-37-2014
工業用各種電気炉および自動制御・搬送装置など
工業炉の設計・製造をしております。



■ 仙台工場

〒989-1612
宮城県柴田郡柴田町大字中名生字佐野34-1
TEL. 0224-54-2427
エレマ発熱体、リクライト（SiCセラミック高温材料）、
エレマ抵抗器などを生産しております。



JQA-2026
仙台工場

■ 滋賀研究室

〒523-0013
滋賀県近江八幡市長光寺町705
TEL. 0748-37-2114

■ 仙台研究室

〒989-1611
宮城県柴田郡柴田町大字上名生字新大原194-2
TEL. 0224-54-2426

グループ企業

● 上海東海高熱耐火制品有限公司

住所：上海市嘉定区马陆镇博学南路878号
発熱体、高温材料を製造・販売しております。



● 東海高熱(蘇州)工業炉有限公司

住所：苏州相城经济开发区漕湖产业园航空产业园A2厂房(方桥路569号)
工業炉を製造・販売しております。



環境方針 | Environmental Policy

当社は、地球環境保全が人類の生存に係わり、
企業活動を継続するための重要課題であると認識し、あらゆる活動において、
環境保全を経営の重要活動として推進します。

1. 環境保全・汚染予防活動の推進

ISO14001に基づく環境管理システムの継続的改善、SDGsが掲げる目標、
カーボンニュートラルの実現、グリーン調達の推進に取り組み、持続可能な社会の構築に努めます。

2. 資源・エネルギーの効率的利用の促進

エネルギー使用量・産業廃棄物量の削減による環境負荷の低減に取り組みます。

3. 地球環境保全に配慮した製品の提供

製品の改良、開発を進めるにあたっては地球環境保全に貢献するよう配慮します。

4. 環境関連法規等の順守

環境に関する法律、条例、当社が受け入れたその他要求事項を確実に守ると共に、必要に応じて自主管理基準を定めます。
この環境方針は、当社全従業員及び構成員一人一人に周知するとともに、社外へも開示します。

ISO14001 環境マネジメントシステムの認証登録

東海高熱工業株式会社 は、2004年12月17日付で
JQA(日本品質保証機構)より
ISO14001 環境マネジメントシステムの認証登録を取得しました。

この認証取得を契機として、
今後一層、地球環境に配慮した企業活動を展開するために、
システムのレベル向上に努めてまいります。

【登録番号】 JQA-EM4429

【認証取得日】 2004年12月17日

【登録事業場】 本社・支店、滋賀工場
仙台工場

【審査登録機関】 一般財団法人 日本品質保証機構 (JQA)



会社概要 | Company Profile

信頼で100年を築く

Gain trust and build 100 years

東海高熱工業は2036年に創業100周年を迎えます。

商号 東海高熱工業株式会社

所在地 〒107-0061
東京都港区北青山1-2-3 青山ビル3階
TEL. 03-5772-8211(代) FAX. 03-5772-8265

設立 1936年2月25日

資本金 14億円

事業内容

- ・ 非金属発熱体、抵抗体の製造、販売
- ・ 炭化けい素、電融アルミナ等の電気化学工業製品の製造、販売
- ・ 耐火煉瓦その他の窯業製品の製造、販売
- ・ 工業炉、附属機器の製造、販売およびエンジニアリング
- ・ 機械器具設置工事
- ・ タイル・れんが・ブロック工事
- ・ 前各号に附帯または関連する一切の事業

事業場

本 社：東京
支 店：京都
工 場：滋賀、仙台
研究室：滋賀、仙台



沿革 | History

- 1936(昭和11年) 東海カーボン株式会社(旧東海電極製造株式会社)の姉妹会社として耐火煉瓦の製造研究を目的とし、東極興業株式会社の名称で資本金50万円で設立
- 1938(昭和13年) 東極産業株式会社と改称
名古屋工場を設けて耐火煉瓦の製造を開始
- 1946(昭和21年) 東海高熱工業株式会社と改称
- 1947(昭和22年) 東海カーボンより、炭化けい素エレマ発熱体、および抵抗体の製造販売権を譲り受け、名古屋工場で製造を開始
京都工場を設けてエレマ電気炉、ダイヤライト(炭化けい素耐火物)およびダルマイト(電融アルミナ耐火物)の製造を開始追加
- 1961(昭和36年) 米国カーボランダム社と炭化けい素発熱体およびセラミック抵抗器について技術提携
同年、東京、名古屋両証券取引所第二部市場に上場公開
- 1964(昭和39年) 宮城県柴田町に仙台工場を設けセラミック抵抗器の製造を開始
- 1968(昭和43年) 名古屋工場で保護管の製造を開始
- 1971(昭和46年) 名古屋工場で触媒担体の製造を開始
- 1976(昭和51年) 京都工場でガス燃焼炉の製造を開始
- 1977(昭和52年) 京都工場で窒化けい素結合炭化けい素耐火物の製造を開始
- 1983(昭和58年) 名古屋工場でリクライト(SiCセラミック高温材料)の製造を開始
- 1985(昭和60年) 京都工場で加圧脱脂炉、真空置換式超高温炉の製造を開始
- 1986(昭和61年) 創立50周年、本社を神田から新宿に移転
- 1988(昭和63年) 仙台工場で遠赤外線ヒータの製造を開始
- 1991(平成3年) 日本真空技術株式会社と真空熱処理炉で技術提携
- 1994(平成6年) 工業炉製造部門を分離、TKエンジニアリング株式会社を設立
- 1995(平成7年) TKエンジニアリング株式会社に積層セラミックコンデンサ焼成炉の量産を開始
- 1997(平成9年) エレマ発熱体・リクライト、担体についてISO9001を取得
同年、発熱体・高温材料の生産拠点として、ドイツ カンタル社との合併で、上海東康高熱耐火制品有限公司を設立
- 1999(平成11年) 上海東康で発熱体の製造を開始また、カンタル社との合併契約を解消(当社100%子会社)
- 2003(平成15年) TKエンジニアリング株式会社を吸収合併
名古屋、九州、仙台の各営業所を廃止し、京都支店を設立
同年、本社を新宿から上野に移転
同年、名古屋証券取引所の上場を廃止
- 2004(平成16年) 上海東康高熱耐火制品有限公司を上海東海高熱耐火制品有限公司に改称
ISO14001の認証を全社一括にて取得
- 2005(平成17年) エレマ発熱体製造部門を仙台工場に移管
名古屋工場を総合研究センターの東海高熱テクノセンターとし、工業炉製造部門を京都工場から移管(京都工場閉鎖)
- 2006(平成18年) 株式交換契約により東海カーボン株式会社の完全子会社(100%子会社)となり、東京証券取引所の上場を廃止
- 2007(平成19年) エレマ抵抗器についてISO9001の認証範囲の拡大
上海東海高熱耐火制品有限公司がISO9001を取得
- 2008(平成20年) 仙台工場でリクライトTN(窒化けい素焼結体)の製造開始
- 2009(平成21年) リクライト製造部門を仙台工場に移管
- 2010(平成22年) リクライト、リクライトTNについてISO9001の認証範囲の拡大
- 2011(平成23年) 工業炉についてISO9001を取得
- 2013(平成25年) 工業炉の生産拠点として、中国 HUIKE社との合併で、東海高熱(蘇州)工業炉有限公司を設立
- 2014(平成26年) 工業炉製造部門を東海高熱エンジニアリング株式会社に移管(東海高熱テクノセンター閉鎖)
- 2016(平成28年) リクライトTN(窒化けい素焼結体)の製造中止
- 2018(平成30年) 本社を上野から青山に移転
- 2024(令和6年) 東海高熱エンジニアリング株式会社を吸収合併



<https://www.tokaikonetsu.co.jp/>

